

極 秘

主 管 課 長 へ

電 信 写

本電主管、配付先等に関し御意見あ
れば直ちに電信課検閲班に連絡こう

37 26844 暗 亞 北
 フレントン 10月17日2025 暮
 本 省 10月18日1021 着
 大平 大臣 朝海 大使

韓国金情報部長の訪米に関する件

才 25 / 8 号

17日の国々省定例会見

従来才 25 / 7 号の会談の際先方は韓国の
 金情報部長の訪米に関し次の通り述べた。
 (1) 同部長は25日頃フレントンに到着の
 予定で数日の滞在の後米国の各都市を訪問
 することとなっている。今回の訪問はCIA
 のマッコーン長官の招待によるもので目的
 は米政府の情報関係者との面会であるが米
 政府の他の要者とも会う予定である(ラス
 タとの会見も予定されているが日時は未定
 である)。

面会
(不場)

秘密指定解除

情報公開室

極秘

主管課長へ

電信写

本電主管、配付先等に関し御意見あれば直ちに電信課検閲班に連絡こう

2. (張元総理が近月中に釈放される予定でありこれは全部長の訪米に備えるものであるとの新聞報道があるがこの当方の質問に対し) 張元総理は現在でも自由の身であつて新聞報道は正確でない。ただ同人は軍事法廷で有罪の宣告を受けており、この有罪の記録を清算するためには上級裁判所に両審の控訴をする権利が残っている、この控訴の期限は2,3月中に切れるが同人が果して控訴するか否かは不明である。

配布先

大臣、次官、外務審議官、萱田文使、臣、米
情参、初長、亞参、米参、総、亞北、米北、
極道、内外

秘密指定解除

情報公開室

極秘

主管課長へ

本電主管、配付先等に関し御意見あれば直ちに電信課検閲班に連絡こう

電信写

37 28673 晴 豆 地
 ワシントン 10月30日1800 発
 本 省 10月31日08 知着
 大 平 大 臣 朝 海 大 使

金韓国情報部長とラスク長官等との
会談模様 の件

第2636号

30日加藤が目下訪米中の金韓国情報部長とラスク長官及びハリマン次官補との会談(何れも29日行なわれた)模様につきイエーが東アジア局長より聴取したるところ次の通り。

1. ラスク長官との会談においては主として金部長が語り手であった。池田総理と大平大臣との会談につき説明あり。その内容は大体在米米大使館より得ている情報と符合している。ラスク長官よりハルキエーバの

市橋()

秘密指定解除

情報公開室

極秘

主管課長へ

電信写

本電主管、配付先等に関し御意見あれば直ちに電信課検閲班に連絡こう

危機に際し米國は友好的でまい國との合意を獲ち得た後だけに日本と韓國の如く同じ陣営に属する友好國の向で話がまとまらまい筈がまいとの懸念を洩し、米國として日韓兩國が速やかに懸案の解決に邁するよう切望したい。

スハリマン次官補との会談においては日韓交渉の外、金部長より民政移管、北鮮の状況につき説明があつた。民政移管については言論統制を本年早々にごとく解除し來るべき選挙前少なくとも4.5月間國民の間に自由な討論が行ない得るようにしたきこと、政治浄化法により政治活動から排除されてゐる者約スクロの名(最初のリストには4,000名以上あつたが、陸々に解除されて來た)から、是本が本相当数を解除する予定であること、立候補に際しては無所属は計さず必ず政黨に所属することとを要件

秘密指定解除

情報公開室

極秘

主管課長へ

本電主管、配付先等に関し御意見あれば直ちに電信課検閲班に連絡こう

電信写

としたきこと（これは過去の経験に照し無
所屬議員程腐敗が甚いとの理由）等が述べ
られたし（民政移管に際し朴弼長が大統領と
なり現在の專政権の指導者の多くが政府に
留まる意向が表明されたかとの当方質問に
対し先方は、われわれは大体そのようにま
るであろうことを想定していると答えた）。
北鮮については特に目新しい事はなかつた
が、金部長が北鮮においてソ連の勢力より
中共の勢力の方が強くなりつつあると述
べたのは自分等の見解と同一で面白かつた。
金部長は南北の経済比較に大きな関心を持
つていようであり、南鮮の方が生活程度
が高いが、経済開発については北鮮の方が
進んでいるので、軍隊の CIVIC ACTION を
強化することにより南鮮の経済開発を助長
したいと述べた。

秘密指定解除

情報公開室

アジア局長

伊南 審議官

参事官

事務次官

[Redacted]

極秘

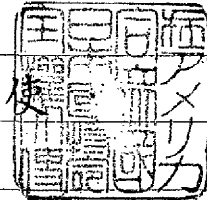
北東アジア課長

政 第 6360 号

昭和37年10月31日

外務大臣殿

在 朝 米 海 大 使



金情報部長訪米に関する件

往電英又636号に關し

冒頭往電の會談の際任一が「金部長が
大平大臣との會談に於て日本側は請求權の
金額につき3億ドルなら出せるとの印象を
述べたようで、2-500万ドルが日本の年間に支
拂い得る最高限でこれを12年間に支拂うとす
れば3億ドルとなると云うようなことをラス
ク長官に語つたと思ふが先方の通訳が余り
手ごたがたためこの辺のところは自分のノート
でもおぼろしき。在京大使館よりの報装でも



在外公館

3億ドルの額がどのようなやりとりの末出て来たかはつきりしない。これは一番大事なところだと思いが、もし、自分の聞き誤りであればテリトリーな問題でもあるし大変なことになるので本件取扱いにはとくと注意願いたい。何かこの裏に聞き、聞き及んでいれば教えて貰いたい」と述べた。

加藤より「日本側で3億ドルが受諾し得るといったようなことは全然聞いていない。元々3億ドルの数字は大平、ラスク会談でラスク長官の示唆した数字であるがラスク長官よりこの数字について全部長に對して話があったのか」と訊ねたのに對し、ヘーガーは「3億ドルというのは日韓兩國の従来の請求權に關する交渉経緯より見てラスク長官が丁度このあたりで妥協するのかもしれないかと考へる兩國に對してス、アップして見ただけのこと、米国の立場として是非これに妥協して貰いたいと云った性質のものではない。全部長は3億ドル、プラスなにがしに長期の借款ということをおっしゃった。

この裏は東京よりの教告と符合する。
(そのなにかしにつき具体的な該が、あつた
かとの当方質問に對し)そのなにかしは相
当大きな数字を考へてゐるとの印象を得
た。米國として数字に深く立ち入るのは
却つて日韓兩國の交渉の妨げとなると思ふ
ので、本件請求權の該は日韓兩國の主張
の喰ひ違ひを突つくこと自体が危険であ
るし今日自分の述べたことは聞かなかつた
ことにして置つて貰ひたい」と述べた趣
であるので何卒お含みまで。

秘密指定解除
情報公開室

極秘
まで

伊園審議官 アジア局長

ト部参事官

北東アジア課

ラスク國務長官・金韓國中央情報
部長會談内容に関する米側より
の通報

27. 11. 7

北東アジア課

在京米大使館 [REDACTED] 書記官は本7日午後

柳谷を来訪、本件會談記録が接した

として、その内容を次のとおり申し述べた。

1. ラスク・金會談の殆んど全部の時間が

全部長の10韓會談に対する説明で費され

72.

2. 全部長は、自分の訪日目的は交渉のため
よりよい雰囲気を作ることにあったと前置した
後、先ず大平大臣との会談につき次のよう
に述べた。

「^{金額}
の金額」

(1) 請求権に関し、大平大臣は、3億ドルを年
2500万ドル、12年間で支払う事を示唆した

のに対し、全部長は、3億ドルでは不十分で

~~あり~~ ^り また、
~~あり~~ 12年間で長すぎるかと反駁した後

さらに借款を加えることにより総額を6億

ドルにしてほしいと要求した。大平大臣は、

3億ドルであり、未だ自分だけの意見であって

総理とは話し合っていないと述べ、また、

700億ドルその他との7割の合計から年額を

2,500万ドル以上にはできないと答え、さらに

6億ドルを「シーリング」にしたこと、韓国側の態

度は非現実的であると述べた。これに対し、

金部長は、韓国氏の対日感情に鑑み、

6億ドルが受諾し得る最少限であると

答えた。

(2) 請求権の「名目」に関し、大平大臣より日本側

の考え方を(いわゆる祝の金方式)を説明した。

のに対し、全部長は、総観の中に ~~韓半島~~ が含ま
賠償(?)

れているといふことが、韓国民に明瞭である限

り、賠償(?)といふ表現にはこだわらなると

述べた上、この真は本国政府の意見を聞く旨

約した。

(2) 「平和ライン」問題に関し、全部長は、これを

漁業問題とは別に考へたといふ述べた上、国防

ラインとしての「平和ライン」は日本に対してで

なく、共産勢力を対象としたものであるとい

ふ力説した。

(4) 漁業問題に関し、全部長は、日韓双方が

恩恵を蒙るようは協定を作りたむと述べ、韓

国側は弾力的態度で臨むから日本側の

同様の態度を示してほしいと希望した。

の独島(竹島)問題に関し、全部長は、事件

は最近になって日本側から提起されたもの

でもあり、その解決を日韓合談交渉後まで

延ばすべきことを主張した。

よ、次いで全部長は池田総理との合談に

つき次のように述べた。

(1) 請木権の「金額」に関して池田総理の述

べたところは、大平大臣と若干異っていた。すな

わち、池田総理は1.5億ドルを主張したので、

~~全~~部長が ~~大~~大臣は2億ドルと述べたと指

摘したのである。池田総理は最後の断を下す

は自分であると言ったが、また、1.5億ドル

は絶対的な数字というわけでもないことを

認めた。さらに、池田総理は、無償1.5億

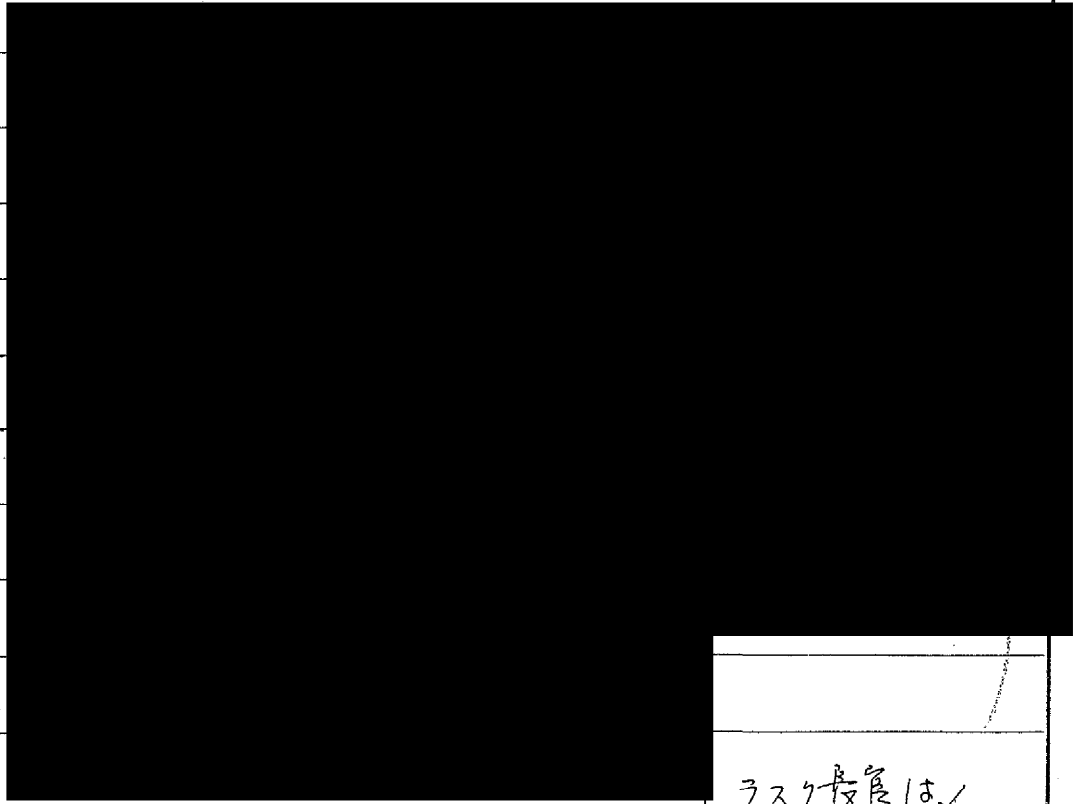
ドルのほか、借款を借入する用意があり、

これにより総額を6億ドルにすることができると述べた。

(2) 大平大臣との間で合意した高級政治合談

年内開催については、池田総理もこれを確

認した。



ラスク長官は、

4. 以上の全部長の説明を聞いた後、日韓

合談妥結の可能性が増した様子で喜ばし

いと述べた上、米國として、日韓双方が

問題点を慎重に検討し、合談妥結のため

最善の努力を払うことを希望しており、合談の

文結は 両国にとり、また米國にとって、重要な意

義があると強調した。

5. ラスク、金合談においては日韓問題のほか

韓國の政情、北鮮事情、キューバ問題等にも

若干ふれた。また、その後のハリマン次官補、金

部長合談では日韓問題はとり上げられず、

主として韓國情勢が話題となった。